

授業科目 NO. 214 臨床薬理学

Clinical Pharmacology

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1単位（15時間）

開講年次・学期： 2年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 薬理作用、副作用、体内動態、薬物相互作用

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

医療現場で用いられる主な薬物の薬理作用や有害作用などについて学び、適応と使用方法、体内動態、服薬中の注意点などを理解することによって、安全で有効な薬物療法の知識を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 病態生理学的知識に基づいた薬物治療の概念を説明できる。(②)
- (2) 主な薬物の薬理作用や有害作用などを述べることができる。(②)
- (3) 薬物の投与方法や体内動態の特徴などを説明できる。(②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	80%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	20%
合計	100%

(特記事項) その他は、毎回授業中に課すレポートまたは確認試験をもとに授業態度を総合的に評価する。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：益岡 尚由

教 授 益岡 尚由 (薬理学)
講 師 宇和田 淳介 (薬理学)

6 教 科 書

吉岡充弘ら編：系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進③薬理学 (医学書院)

7 推 薦 参 考 書

- 1) 荻田喜代一ら編：看護学テキスト NiCE 薬理学 (南江堂) 2020
- 2) 渡邊泰秀ら編：コメディカルのための薬理学 (朝倉書店) 第3版 2018
- 3) 田中千賀子ら編：NEW 薬理学 (南江堂)

8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。
各回の授業中に課すレポートあるいは確認試験を、授業終了後提出すること。

9 課題 (試験やレポート等) に関するフィードバック

確認試験は正答を示し、返却します。

10 履修上の注意事項

特になし。

11 オフィスアワー等

益岡：質問その他は随時受け付けます。また、e-mail (masuoka@kanazawa-med.ac.jp) あるいは携帯ネットにて事前に連絡があれば、相談して日時を決定したのち、来室での質問も受け付けます。

宇和田：質問その他は随時受け付けます。また、e-mail (uwada@kanazawa-med.ac.jp) あるいは携帯ネットにて事前に連絡があれば、相談して日時を決定したのち、来室での質問も受け付けます。

第2学年

臨床薬理学

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月10日(月)	2	講義	薬理学総論1	確認試験	薬理学	益岡教授
前	2	4月17日(月)	2	講義	薬理学総論2	確認試験	薬理学	益岡教授
前	3	4月24日(月)	2	講義	薬理学総論3	確認試験	薬理学	益岡教授
前	4	5月01日(月)	2	講義	末梢での神経活動に作用する薬物	確認試験	薬理学	宇和田講師
前	5	5月08日(月)	2	講義	循環器系に作用する薬物1(降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬など)	確認試験	薬理学	益岡教授
前	6	5月15日(月)	2	講義	循環器系に作用する薬物2(不整脈、利尿薬、抗凝固薬など)	確認試験	薬理学	益岡教授
前	7	5月22日(月)	2	講義	中枢神経系に作用する薬物(催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬など)	確認試験	薬理学	益岡教授
前	7.5	5月29日(月)	2	講義	抗アレルギー薬・抗炎症薬	確認試験	薬理学	益岡教授